

埼玉県赤十字奉仕団 創設75周年記念大会を開催!



11月15日(水)、さいたま市文化センター(さいたま市南区)にて埼玉県赤十字奉仕団創設75周年記念大会を開催しました。

75周年の節目にこれからの社会で求められる赤十字奉仕団の役割を改めて確認し、情報交換や交流を行うことにより、活動の一層の推進を図るもので、県内の奉仕団から52団、231名が参加しました。

開会式では、赤十字奉仕団埼玉県支部委員会の黒瀬 節子委員長から「時代の移り変わりとともに、奉仕団を取り巻く環境も大きく変化しています。赤十字の一員として力を合わせ、心をひとつにして、変化に対応しながら人道支援の輪を広げていきましょう。」の挨拶があり、支部長である大野元裕県知事からはビデオによる応援メッセージが寄せられました。



大会は2つの記念講演を中心に行われ、講演1では、教育評論家の尾木直樹様(尾木ママ)をお招きし、「子どもも大人も居心地の良い学校・家庭・地域社会を目指して」と題して、今の子どもたちが抱えている問題と、その解決のために赤十字ボランティアがどのように関わることができるかについてお話いただきました。

講演2では、「笑い与健康」と題し、日本赤十字看護大学さいたま看護学部の成木弘子教授からお話をいただき、これからも元気に活動できるよう参加者全員で「笑いヨガ(ラフターヨガ)」のエクササイズを体験しました。



会場には日頃のボランティア活動を紹介したポスターや手作り品などの展示コーナーが設けられ、普段の活動の情報交換が行われました。

赤十字は、奉仕団をはじめとする多くのボランティアの活動によって支えられています。今後もボランティアのみならず、赤十字事業を推進してまいります。



日赤埼玉支部 奉仕団だより

第10号

令和6年3月31日発行
発行者
日本赤十字社埼玉県支部
青少年・ボランティア課
〒330-0064
埼玉県さいたま市浦和区
岸町3-17-1
電話 048-789-7117
FAX 048-789-1520

日本赤十字社の使命
わたしたちは、
苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、
いかなる状況下でも、
人間のいのちと健康、尊厳を守ります。



ハートラッシュ
日本赤十字社公式
マスコットキャラクター



赤十字防災セミナーの開催をぜひ地域で企画してください!

日本赤十字社埼玉県支部では、地域の自助力、共助力の向上に貢献するため、赤十字防災セミナーを開催しています。

既存カリキュラムの「災害への備え」「災害エスノグラフィー」「災害図上訓練(DIG)」に、新たに「ひなんじょたいけん」「家具安全対策ゲーム(KAG)/うちのキケン」が加わりました。

ぜひ、団員研修をはじめ、地域の中で防災意識を高めませんか?赤十字防災セミナーの内容やお申し込み方法は埼玉県支部のホームページをご覧ください♪



埼玉県の赤十字奉仕団

赤十字奉仕団の現勢(令和5年3月31日現在)

地域赤十字奉仕団

49団・5,361人

「赤十字のボランティア活動を通じて地域社会に貢献したい」という思いを持った人びとによって市区町村の地域ごとに結成されています。

青年赤十字奉仕団

3団・140人

おおむね18~30歳の学生や社会人によって組織されています。青少年赤十字支援活動、献血推進活動、赤十字PR活動などに取り組んでいます。

特殊赤十字奉仕団

9団・956人

専門的な知識・技術をもった人や特定の活動のために集まった人によって組織されています。

赤十字奉仕団の信条

- 一、すべての人びとのしあわせをねがい、陰の力となって人びとに奉仕する。
- 一、常にくふうして人びとのために、よりよい奉仕ができるよう努める。
- 一、身近な奉仕をひろげ、すべての人びとと手をつないで、世界の平和につくす。



令和6年度赤十字奉仕団活動共通目標

- 目標1 「赤十字防災セミナー」や「赤十字避難生活支援講習」等の開催、地域の防災訓練への参加など、地域の自助力・共助力の向上に向けた活動を進める。
- 目標2 赤十字運動の担い手となり、地域包括ケアなど、地域課題の解決に向けた活動を進める。
- 目標3 奉仕団間や青少年赤十字との交流、他の団体や組織と連携・協働した活動を進める。



公式SNSのご紹介!

埼玉県内における赤十字活動の報告や生活に役立つ情報などを発信しています。当支部ホームページ「ボランティアについて」では県内の各奉仕団活動をご紹介しますので、ぜひご利用ください♪





奉仕団同士や青少年赤十字加盟校との交流



越谷市赤十字奉仕団 × 埼玉県青少年赤十字賛助奉仕団 × 青少年赤十字加盟校の小・中学校

12月9日(土)、ボランティアの体験を通して青少年赤十字の一員としての意識の高揚を図ることを目的に越谷市小・中学校クリーンパトロールが4年ぶりに市内8会場で開催されました。当日はJRC加盟校29校の児童・生徒、教員、保護者約1500名、青少年赤十字賛助奉仕団員・越谷市赤十字奉仕団員が約30名参加しました。親子のふれあいや奉仕団員と子どもたちのふれあいが随所に見られ、誰もが笑顔のあふれた半日になりました。



さいたま市南区赤十字奉仕団 × さいたま市立浦和南高等学校

10月7日(土)、地元の奉仕団と青少年赤十字加盟校が協働し、「第21回南区ふるさとふれあいフェア」に赤十字PRブースを出展。赤十字活動紹介やハンドメイド作品「アクリルたわし」「UVレジン」を販売し、売上金を災害義援金として寄付しました。



埼玉安全赤十字奉仕団 × 埼玉マジック赤十字奉仕団



11月11日(土)12日(日)、秩父市福祉女性会館において、埼玉安全赤十字奉仕団宿泊研修会が開催されました。防災食づくりや、牛乳パックを使った笛づくり、風呂敷リュックなど災害時に役立つノウハウを学びました。1日目には、埼玉マジック赤十字奉仕団によるパフォーマンスが行われ、団員みんなで楽しく参加し、お互いの活動を知る交流の場となりました。

杉戸町赤十字奉仕団 × 富岡町赤十字奉仕団(福島県)

杉戸町と富岡町は、平成22年に友好都市協定書を締結し、翌年発生した東日本大震災の避難者を受け入れて以来、長い間交流が続いています。9月13日(水)、東日本大震災からの復興状況や再開したボランティア活動について学ぶことを目的に、杉戸町赤十字奉仕団が富岡町を訪問し交流会を開催。終了後には、富岡町赤十字奉仕団の皆様のご案内で「とみおかアーカイブミュージアム」(震災伝承施設)を見学するなど、充実した研修となりました。



ときがわ町赤十字奉仕団 × 熱海市赤十字奉仕団(静岡県)



熱海市は令和3年8月に大規模な土石流災害が発生し甚大な被害を受けました。ときがわ町では令和4年7月に記録的な大雨で、町内全域に避難指示が出たほか、土砂崩れで複数の住宅が傾くなどの被害がありました。10月17日(火)、ときがわ町赤十字奉仕団が、熱海市を訪問し、災害時のボランティア活動の情報交換をしました。



令和5年度の活動紹介!

県内の赤十字奉仕団では、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を自粛したり、縮小したりしていましたが、令和5年度はさまざまな活動が再開されてきています。本号は、様々なコラボ活動を中心に紹介します♪

令和6年能登半島地震災害義援金募集活動

狭山市赤十字奉仕団

1月18日(木)、地元の西武文理大学の学生と協働し募金活動を実施。小谷野 剛狭山市長(日赤狭山市地区長)に参加していただき、多くの方々からご協力をいただきました。他にも、数多くの奉仕団の皆様にご協力をお願いしております。



炊き出しサミット

深谷市赤十字奉仕団

10月29日(日)、深谷ビッグタートルを会場に「埼玉県赤十字奉仕団炊き出しサミット2023」を開催。県内の地域奉仕団から計16団219名が参加しました。煮ぼうとうやけんちん汁、おにぎりなど計1,100食を来場者などに提供。小島 進深谷市長(日赤深谷市地区長)も駆けつけ、日頃の活動に対して労いの言葉をいただきました。



大宮アルディージャ手話応援デー

埼玉県青年赤十字奉仕団

8月26日(土)、プロサッカークラブ「大宮アルディージャ」が企画する「手話応援デー」に参加。日本赤十字看護大学さいたま看護学生赤十字奉仕団と協力し、手話体験ブースや赤十字の防災展示ブースの運営補助をしました。両団員も実際に手話を教えてもらい、ブース運営終了後は試合応援を盛り上げました。



日赤第2ブロック支部災害救護訓練

秩父地域内奉仕団

10月21日(土)・22日(日)の2日間、線状降水帯の停滞による大雨により秩父地域で土砂崩れが発生したことを想定した大規模な医療救護訓練を秩父地域1市4町で実施しました。秩父地域内奉仕団(秩父・横瀬・皆野・長瀬・小鹿野・埼玉安全秩父分団)から計189名が被災者役で参加。県内外から駆け付けた12の医療救護班が各避難所を巡回し診療しましたが、個別に設定された避難者役や傷病者役を担当しました。この訓練が1月に発生した能登半島地震災害での救護活動に大いに生かされています。



創立25周年式典&初のライフジャケット体験会

日赤埼玉水上安全奉仕団

1月28日(日)、日赤埼玉水上安全奉仕団創立25周年記念式典を開催しました。今年度は、コロナで中止となっていた救助員I(プール)養成講習を3年ぶりに実施。また、8月に開催した初の試みとなるライフジャケット体験会は大盛況。NHKやテレ玉などの取材も受けました。

